

令和2年国勢調査結果

令和5年6月
情報統計担当
Tel:06-6489-6150

尼崎市の流動人口 (従業地・通学地集計結果)

令和2年国勢調査の従業地・通学地集計結果が、総務省統計局から公表されました。ここではその尼崎市に関する概要をお知らせします。なお、用語の定義など調査の概要及び全国結果等については、総務省統計局ホームページをご覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/>

○ 流入人口、流出人口ともに減少

令和2年10月1日現在の尼崎市の流動人口を見ると、流入人口総数は81,105人となり2,235人(2.7%)減少しました。このうち通勤者は77,058人となり1,913人(2.4%)減少、通学者は4,047人となり、322人(7.4%)減少となっています。

流出人口総数は96,769人となり3,493人(3.5%)減少しました。このうち通勤者は87,929人となり1,417人(1.6%)減少、通学者は8,840人となり2,076人(19.0%)減少となっています。

常住人口(夜間人口)459,593人に対し、昼間人口は443,929人となっており、これを差し引くと15,664人が市外へ流出している状況となっています。また昼間人口率(昼間人口の夜間人口に対する比率)は96.6%となり、0.3ポイント増となりました。

図1 常住人口(夜間人口)と
昼間人口の推移(尼崎市)

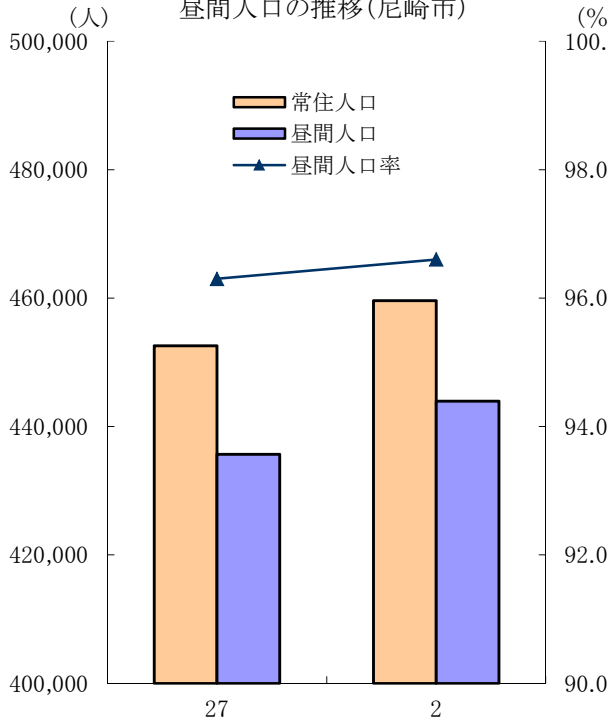


図2 流入・流出人口の推移(尼崎市)

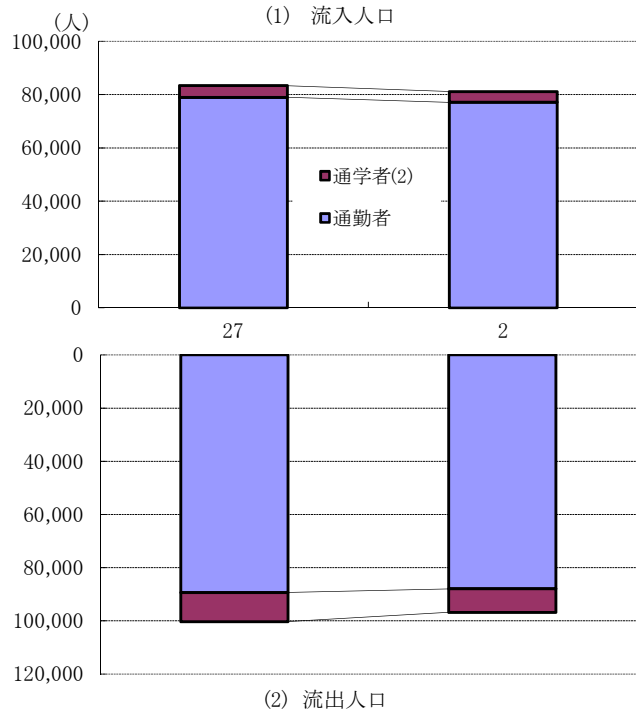


表1 尼崎市の流動人口(平成17、22年、令和2年) ※注

年次	常住人口 (夜間人口)	昼間人口 (1)	昼夜間 人口差	昼間人口 率(%)	流入人口			流出人口(3)		
					総数	通勤者	通学者(2)	総数	通勤者	通学者(2)
22	453,748	439,358	△14,390	96.8	85,795	82,098	3,697	112,167	99,482	12,685
27	452,563	435,641	△16,922	96.3	83,340	78,971	4,369	100,262	89,346	10,916
2	459,593	443,929	△15,664	96.6	81,105	77,058	4,047	96,769	87,929	8,840

(1) 従業地・通学地「不詳」で、尼崎市に常住している者を含む。(2) 通学者数には15歳未満を含む。

(3) 他市区町村に従業・通学で、従業地・通学地「不詳」を含む。

※注 労働力状態「不詳」を含む。

○ 近隣自治体の昼夜間人口との比較

尼崎市の昼間人口率を近隣自治体と比較すると、兵庫県全体の96.1%より0.5ポイント高く、神戸市の102.3%より5.7ポイント低くなっています。また尼崎市の昼間人口率は阪神地区7市1町の中では最も高く、住宅地と産業都市との中間的な性格であると言えます。

表2 近隣自治体の昼夜間人口、昼間人口率

自治体名	夜間人口	昼間人口	昼間人口率(%)	自治体名	夜間人口	昼間人口	昼間人口率(%)
尼崎市	459,593	443,929	96.6	川西市	152,321	123,592	81.1
兵庫県	5,465,002	5,249,636	96.1	三田市	109,238	104,676	95.8
神戸市	1,525,152	1,560,753	102.3	猪名川町	29,680	23,398	78.8
西宮市	485,587	430,122	88.6	大阪府	8,837,685	9,182,101	103.9
芦屋市	93,922	80,555	85.8	大阪市	2,752,412	3,534,521	128.4
伊丹市	198,138	184,573	93.2	豊中市	401,558	357,171	88.9
宝塚市	226,432	183,303	81.0	吹田市	385,567	371,024	96.2

○ 流動人口の流入元及び流出先

流入人口81,105人の主な流入元を府県別に見ると、兵庫県内他市町が53,151人(構成比65.5%)と最も多く、次いで大阪府が27,182人(構成比33.5%)が多くなっており、兵庫県内のうち尼崎市を除く阪神6市1町が37,556人(構成比46.3%)と全体のほぼ半数を占めています。さらにこれを都市別に見ると多い順に西宮市14,809人(構成比18.3%)、大阪市11,873(構成比14.6%)、伊丹市10,961人(構成比13.5%)、神戸市10,081人(構成比12.4%)とそれぞれ1万人を上回っています。

次に流出人口96,769人の流出先を府県別に見ると大阪府が57,787人(構成比59.7%)と最も多く、次いで兵庫県内他市町が35,480人(構成比36.7%)が多くなっており、兵庫県内のうち阪神6市1町が22,228人(構成比23.0%)となっています。さらにこれを都市別に見ると多い順に大阪市43,235人(構成比44.7%)、神戸市12,034人(構成比12.4%)、西宮市10,655人(構成比11.0%)とそれぞれ1万人を上回っています。

表3 流入人口の主な流入元

区分	総数	兵庫県	阪神地区 (注1)					神戸市	大阪府	大阪府	
			西宮市	伊丹市	宝塚市	大阪市	豊中市				
総数	81,105	53,151	37,556	14,809	10,961	5,185	10,081	27,182	11,873	3,038	
従業者数	77,058	49,541	34,911	14,007	10,056	4,776	9,601	26,657	11,674	2,983	
通学者数 (注2)	4,047	3,610	2,645	802	905	409	480	525	199	55	

表4 流出人口の主な流出先

区分	総数	兵庫県	阪神地区 (注1)					神戸市	大阪府	大阪府	
			西宮市	伊丹市	宝塚市	大阪市	豊中市				
総数	96,769	35,480	22,228	10,655	7,007	1,882	12,034	57,787	43,235	3,435	
従業者数	87,929	31,311	19,653	8,967	6,746	1,705	10,537	53,952	41,545	3,141	
通学者数 (注2)	8,840	4,169	2,575	1,688	261	177	1,497	3,835	1,690	294	

(注1) 西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町の6市1町の合計である。

(注2) 15歳未満の通学者を含む。